

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-44	中学校	道徳科	道徳	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 038-82	中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき		

▶ 1. 編修の基本方針

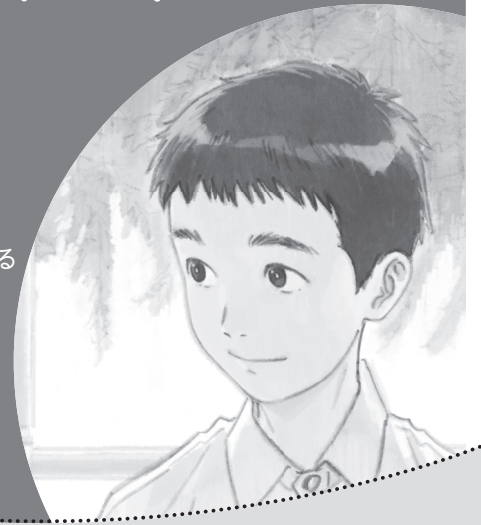
よりよい未来の創造に向け 変革を起こす力を育むために

人格の完成を旨とする教育基本法に基づき、
これからの学校には、一人一人の生徒が、

- ・自分のよさや可能性を認める
- ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
- ・多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越える
- ・豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

ことができるようになる教育が求められています。

私たちは、これらを実現するために、次の三つを大切に
教科書を編修しました。



ポイント

1

主体的な学び手を 育てる

...

主体的な学び手を育てるため、1年間の初めに道徳科は何を学ぶ教科なのかを自覚し、自分なりの学びの目標がもてるようにしました。また、学年末には、1年間道徳科で学んだことが、自分にとってどんな意味があったのかをしっかりと振り返れるようにしました。

ポイント

2

自ら問いをもち 探求する

...

自ら問いをもち、その問いを探求する姿勢を育めるような工夫をしました。学年の最初に問いをもつ大切さを意識させ、自分の中に芽生えた疑問を問いの形にできるような場を設けました。3学期には、問い合うことによって考えを深め、物事の本質を探求する教材を配しました。

ポイント

3

人権に対する 感性を育む

...

よりよい未来に向かって多様な人々と共に生きていくためには、人権に対する感性を磨く必要があります。道徳科として人権に対する知識と考え方を学び、生徒一人一人の感性を高められるよう、人権のユニットを設けました。

ポイント 1 主体的な学び手を育てる—見通す・振り返る

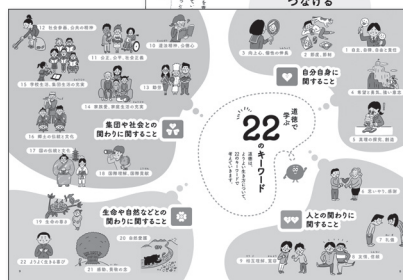
第1教材「①道徳の学習を始めよう」

何を学ぶのかを意識する

- ・道徳科を学ぶ心構えをつくれるよう、三つのポイントを示しました。答えが一つではない問いについて考えていくために、自分と、そして他者と向き合うことを促しています。また、学んだことをさまざまなことに結び付けるように呼びかけました。
- ・これからの1年間、どんなことを学んでいきたいか、自分なりの目標を立てることを呼びかけます。
- ・22の内容項目を、イラストと共に紹介。各教材冒頭にも内容項目を明示することで、その教材で何について考えるのかを自覚できます。



p.6-7

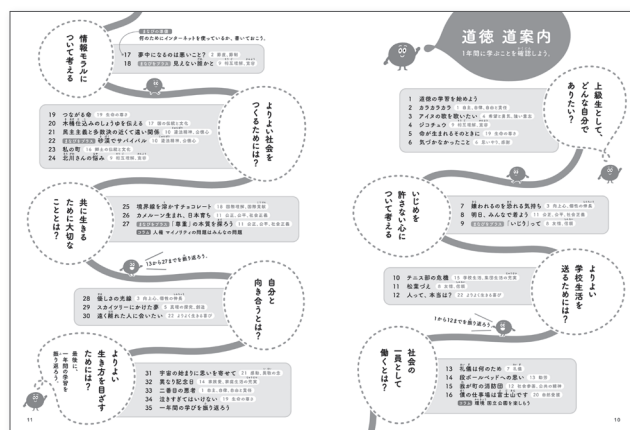


p.8-9

多様な学びを意識できるユニット構成

ゆるやかなテーマで学びをつなぐ

- ・教材一つ一つを独立させるのではなく、幾つかの教材が関わりながらテーマに向かって考えられるように、ユニットを構成しました。よりよく生きることについて、さまざまな観点でアプローチできます。



p.10-11

最終教材「㉔一年間の学びを振り返ろう」と折込「まなびの記録」

振り返ることで、学んだことの価値を実感する

- ・最終教材「㉔一年間の学びを振り返ろう」では、第1教材で初めに立てた目標を思い出し、道徳の学びが自分にとってどのような価値があるものだったかを振り返ります。その際、巻末の折込「まなびの記録」に書き溜めてきた一言感想を見渡しなが、1年間の自分の成長を見つめます。



p.170-173「㉔一年間の学びを振り返ろう」



折込「まなびの記録」

ポイント 2 自ら問いをもち探求する

✓ 道徳で大切にしたいこと 問うことの大切さを意識する

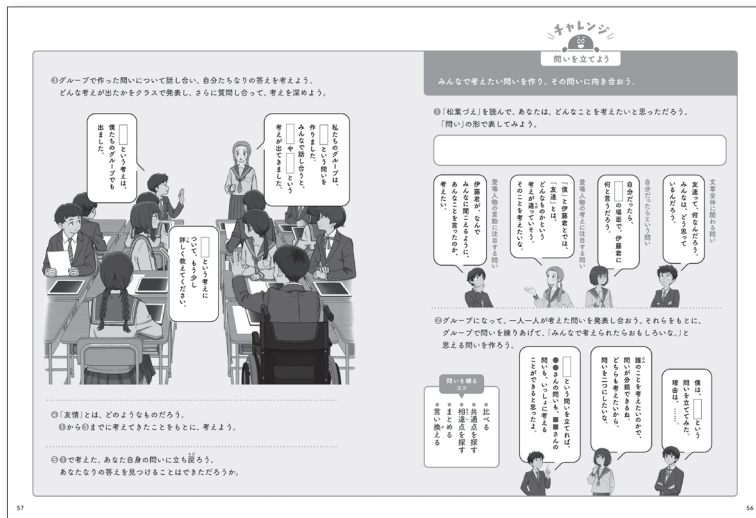
- 第2教材では、「道徳で大切にしたいこと」として、「問う」ことから道徳科の学習を整理しました。「自分に問う」「友達と問い合う」「生き方を問う」とし、自ら問いをもち、その答えを探求する姿勢を意識させます。



p.15「道徳で大切にしたいこと」

✓ 「問い」を立てて考える みんなで考えるに足る問いをつくる

- 生徒自らが問いを立て、考えを深められるようにしました。生徒が自分の事として問いをもちやすい「友情、信頼」の教材に、通常でびきに加えて、問いを立てて取り組む学習活動の手順を示した「チャレンジ 問いを立てよう」というページを用意しました。どちらかのでびきを選んで取り組むことが可能です。

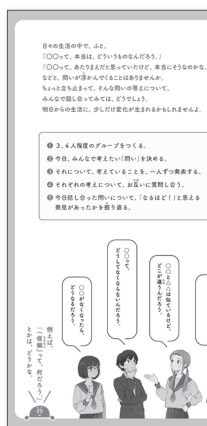


p.56-57「チャレンジ 問いを立てよう」

✓ 「問い合う」ことを楽しむ 自ら立てた問いの答えを探求する

- 大人でも悩んでしまう哲学的な問いを掲げている「なんだろう なんだろう」に続けて、「やってみよう 今日の『てつがく』」を設けました。自分の中から生まれる答えのない問いについて、考えをもち寄り、みんなで答えを創り出すことを促します。朝学習の時間などを活用し、普段から問い合うことを呼びかけています。
- 3学期には、「㉗『尊重』の本質を探ろう」という哲学的な対話に取り組む教材を配しました。お互いの考えを深く掘り下げ、問い合いながら「これなら納得できる」という共通理解を見だし、他者と共に新たな価値を生み出す活動です。

p.84
「やってみよう
今日の『てつがく』」



p.128-131

「㉗『尊重』の本質を探ろう」

p.82-83「なんだろう なんだろう」



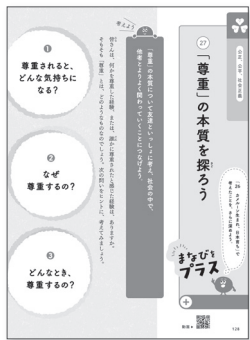
ポイント 3 人権に対する感性を育む

「共に生きるために大切なこと」を考える

「人権」について考えを深めるユニット

道徳科として人権に対する知識と考え方を学び、生徒一人一人の感性を高められるよう、人権のユニットを設けました。

教材③ 教材② 教材① とびら



p.128-131
「⑦『尊重』の本質を探ろう」



p.122-127
「⑥カメルーン生まれ、日本育ち」



p.118-121
「⑤境界線を溶かすチョコレート」



p.117
「共に生きるために大切なこととは?」



p.132-133「コラム人権 マイノリティの問題はみんなの問題」

コラム

・2年のコラム「マイノリティの問題はみんなの問題」では、私たちが抱えているさまざまな人権の問題を挙げています。1年では「人権とは何か」について考えており、次の3年では「人権を守るために何ができるのか」について知ることができます。

二次元コードコンテンツでは「世界人権宣言」や「子どもの権利条約」等の全文を見ることができます。

2. 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

全ての生徒に使いやすく、わかりやすい教科書を目ざして

特別支援教育への配慮

・教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザイン観点に立った編修とデザインを心がけました。

人権上の配慮

・人権教育の専門家に全面的な校閲をお願いし、教科書全体において、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別の偏りがないようにしました。また、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、記述には十分配慮しています。

学習上の配慮

[文章の区切りについて]

・てびきの問いは、意味のまとまりで改行することで、生徒が問われていることの意味をつかみやすくなりました。

[「個別最適な学び」を実現するために]

・一人一人の生徒の特性に合わせて教科書をカスタマイズできるよう、文字の大きさを変更できる機能や、全ての漢字に振り仮名を表示する機能、白黒反転機能、機械読み上げ機能等を搭載した学習者用デジタル教科書を準備しました。

▶ 3. 対照表

[第2学年]

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁
巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった生徒へのメッセージを掲載した。	第一号、第二号	表2-1
1 道徳の学習を始めよう	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うために、道徳を学ぶ意義を考えるとともに、疑問を追究していく態度や他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの大切さを感じることができるようなページを設けた。	第一号、第二号	6-11
道徳で大切にしたいこと			15
12 人って、本当は?			58-61
17 夢中になるのは悪いこと?	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	85-89
〈やってみよう〉感情をマネジメントしてみよう			34-35
29 スカイツリーにかけた夢			139-143
なんだろう なんだろう	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	82-83
〈やってみよう〉今日の「てつかく」			84
3 アイヌの歌を歌いたい			16-19
7 嫌われるのを恐れる気持ち	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	36-38
28 優しさの光線			134-138
30 遠く離れた人に会いたい			144-147
32 異なり記念日			153-157
2 カラカラカラ			12-14
4 ジコチュウ	他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	20-24
18 見えない誰かと			90-92
33 二番目の悪者			158-163
13 礼儀は何のため			62-65
14 段ボールベッドへの思い	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号、第三号	66-69
15 我が町の消防団			70-73
21 民主主義と多数決の近くて遠い関係			101-104
22 砂漠でサバイバル			105-107
6 気づかなかったこと			29-33
8 明日、みんなで着よう			39-42
9 「いじり」って			43-45
10 テニス部の危機			46-50
11 松葉つえ			51-57
24 北川さんの悩み	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号	112-116
26 カメルーン生まれ、日本育ち			122-127
27 「尊重」の本質を探ろう			128-131
〈とびら〉共に生きるために大切なことは?			117
〈コラム〉人権 マイノリティの問題はみんなの問題			132-133
〈付録〉泣いた赤おに			174-179
〈付録〉闇の中の炎			180-184
5 命が生まれるそのときに			25-28
16 僕の職場は富士山です			74-79
19 つながる命	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第四号	93-95
31 宇宙の始まりに思いを寄せて			148-152
34 泣きすぎてはいけない			164-169
〈コラム〉環境 国立公園を楽しもう			80-81
20 木桶仕込みのしょうゆを伝える			96-100
23 私の町	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	108-111
25 境界線を溶かすチョコレート			118-121
〈付録〉郷土と共に生きる			185-187
35 一年間の学びを振り返ろう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、自主及び自律の精神を養うことができるよう、学習した道徳的価値やそれに関連した自分自身のことを振り返ることのできるページを設けた。	第一号、第二号	170-173
まなびの記録	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返る書き込み欄があるページを設けた。	第二号	折込

編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-44	中学校	道徳科	道徳	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 038-82	中学道徳 2	きみが いちばん ひかるとき	

▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1 よりよく生きるための素地を養う1年間

教材と教材のつながりや、道徳の学びと生徒の生活のつながりを意識し、授業で考えたことが生徒のよりよい生き方に結び付く教科書を目指しました。

第35教材では、1年間の学びを見渡し、自分の成長を実感するための振り返りの時間を確保
(教育基本法との対照表p.2参照)

環境や人権などの**持続可能な開発目標(SDGs)**につながるコラム
(教育基本法との対照表p.4参照)

考えたことを、活動を通してさらに深める**まなびをプラス**
(年間4か所)

自ら立てた「問い」に取り組む**チャレンジ**
問いを立てよう
(教育基本法との対照表p.3参照)

体験的な学習で、実感を伴って考えを深める**チャレンジ**
演じて考えよう

第1教材は、1年間の学びの見直しをもつためのオリエンテーション
(教育基本法との対照表p.2参照)

後期

3学期 (8時間)

35 一年間の学びを振り返ろう
34 泣きすぎた日はいつか
33 二番目の悪者
32 異なり記念日
31 宇宙の始まりに思いを寄せて
30 遠く離れた人に会いたい
29 スカイツリーにかけた夢
28 優しさの光線
27 人権「人権」の問いはみんなの問題

2学期 (15時間)

26 境界線を溶かすチョコレート
25 カメルーン生まれ、日本育ち
24 北川さんの悩み
23 私の町
22 まなびをプラス
21 民主主義と多数決の近くて遠い関係
20 木桶仕込みのしょうゆを伝える
19 つながる命
18 夢中になるのは悪いことか
17 インターネットの利用を振り返ろう

前期

1学期 (12時間)

16 ココロ環境国立公園を楽しもう
15 我が町の消防団
14 僕の仕事場は富士山です
13 礼儀は何のため
12 段ボールベッドへの思い
11 人って、本当は？
10 松葉づえ
9 テニス部の危機
8 明日、みんなで着よう
7 嫌われるのを恐れる気持ち
6 命が生まれるそのときに
5 気づかなかったこと
4 ジコチュー
3 アイヌの歌を歌いたい
2 カラカラカラ
1 道徳の学習を始めよう

本書で学ぶ皆さんへ……

ユニットの

1 ユニットの大切にしなさいこと
2 道徳で大切にしたいこと
3 演じて考えよう
4 演じて考えよう
5 演じて考えよう
6 演じて考えよう
7 演じて考えよう
8 演じて考えよう
9 演じて考えよう
10 演じて考えよう
11 演じて考えよう
12 演じて考えよう

よりよい、学校生活を送るためには？

社会の「良」として働くとは？

自分自身に関すること
人との関わりに関すること
集団や社会との関わりに関すること
生命や自然などとの関わりに関すること

●教材の冒頭に付いている印
自分自身に関すること
人との関わりに関すること
集団や社会との関わりに関すること
生命や自然などとの関わりに関すること

●教材の終わりに付いている印
持続可能な開発目標(SDGs)との関わり
SDGs
社会との関わり
SDGsや他教科等との関連がわかるマーク
(各教材末に掲載)

2年 目次

本書は、「テーマ」をもった、ユニットに分かれています。

とくまる

1年間の学びを一望できる書き込みシート**まなびの記録**
(教育基本法との対照表p.2参照)

小学校の定番教材で学び直しができる

SDGsや他教科等との関連がわかるマーク
(各教材末に掲載)

生徒の発達の段階に合わせた**ユニット**で構成

p.2-3 目次

誰もが教材を共通の土台にして考え、しっかりと話し合えるよう配慮しました。

紙面にゆとりがあり、机の上で取まりがよい、B5変型判

本時の学びのキーワードを確認できるよう、内容項目のタグを明示

形と色で判別できる視点マーク

本文は、UDフォントを使用

カラカラカラ

著作者を明示


考えよう

自ら考えて行動するのは、どういうことだろう。

- 男の人と目が合ったとき、連也が視線をそらしたのとは、どんな思いがあったからだろう。
- 男の人の背中を目で追いかけていたとき、連也は、どんなことを考えていただろう。

見方を変えて

- 連也と男の人は、どんなところが違ったのだろう。
- つなげよう
- あなたが、ここからはしてはいけないことだと判断するのは、どんな理由からだろう。



ムのコみ箱が目に入った。
「連也、何やってんだ」
と、登が呼んだ。
「この空き缶、捨てに行く時間あるかな……」
と、連也が返した。
「そら返に誰いときや、くだない子よるのか」
と、登が呼んだ。
連也は「開き」した。登は「開き」の下に置いて、連也の隣に座った。
電車が動き出す。三人はすたにゲームの話を夢中になった。
カラカラカラ……。しばらくして、連也は開いた空き缶が、何かのはずみで転がり始めた。カラカラカラ……。空き缶は、電車の動きに合わせて右や左に転がる。連也は「開き」には気がつかないよう、しきりに連也に話しかけていた。連也は「開き」が気がつき、音のする方をちらちらと見つけた。
空き缶はあちこちを走り回り、ついに連也の足元に転がってきた。連也はどきどきとした。登が、連也の顔を覗き込んで言った。
「どうしたか」
「いや、別に……」
「やっばり拾おうかな」そう思いついて、登は立ち上がり、空き缶を拾った。連也は、とんでもなく感じられた時間を過ぎていった。
カラカラカラ……。転がりが終わっている空き缶が、向かいの席で本を読んでいる男の人に向かっていった。
連也は、男の人の様子をもっと見たい。男の人は「開き」に気づくと、すかさず手を伸ばし、空き缶を拾った。そのとき、連也と男の人の目が合った。連也はすぐに視線をそらした。男の人は、空き缶を軽く握り、足元に置き、再び本を、読み始めた。突如あちか、空き缶の音は車内から取り除かれた。
目の前の扉に着き、三人が電車を降りようとする。男の人も「開き」を持って電車を降りた。そして、空き缶は、み箱に捨てると、何事もなかったかのように改札に向かって歩いていった。
連也は、男の人の背中をいつまでも目で追いかけていた。

12

編者委員会
まめぶく絵

中学校学習漢字に振り仮名を付し、読みを軽減

朗読、資料、動画など、生徒の学習意欲を高めるデジタルコンテンツ

1時間の学びの流れが見通せるてびき

考えよう（学びのテーマ）

生徒が、教材を通して何を学ぶのか、学びのテーマをはっきりと意識することができるようにしました。そして、学びのテーマに迫るため、次のような二つの問いを設定しました。

- ① 道徳的な問題を明らかにする問い（課題の設定）
- ② 道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い（中心となる発問）

また、最後にもう一度、「考えよう」に掲げた学びのテーマに戻ることで、本時のまとめができるようになっていきます。



見方を変えて

生徒が、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう、「考えよう」とは切り口を変えた問いを設けました。

つなげよう

教材の特質に合わせて、他教科や日常生活、他教材とつなげたり、さらに深めたいテーマへとつなげたりすることを意識した呼びかけを、示しています。道徳の学びが1時間の授業で終わってしまうのではなく、そこからさらに深く考えたり、行動につなげたりできるよう工夫しました。

● **読み物を通して考えたことを、活動を通してさらに深めていく教材を用意しました。**

年間に4か所設けられた**まなびをプラス**。前の時間に教材を読んで考えたことを、次の時間には活動を通して深めたり、違う角度から迫ったりすることで、実感を持った学びに高めます。

✓ **いじめ問題**

「⑧明日、みんなで着よう」で公正さや公平さについて考えた後、**まなびをプラス**の「⑨『いじり』って」では、友達との関係性を考えながらいじめを捉えていきます。

いじめを許さない心について考えるユニットに組み込まれています。

p.43-45 「⑨『いじり』って」

p.39-42

「⑧明日、みんなで着よう」

✓ **情報モラル**

端末との節度ある付き合い方とは、目の前にない他者とのコミュニケーションのあり方とは、という二つの観点で考えていきます。

p.90-92

「⑩見えない誰かと」

✓ **多様な意見を取り入れて**

「民主主義」の考え方について学んだ後に、実際に話し合いで物事を決めていく活動を通して、そのよさや難しさについて考えます。

p.105-107 「⑫砂漠でサバイバル」

✓ **物事の本質に迫る**

話し合いを通して、「尊重」の本質に迫っていきます。前の時間に「⑫カメルーン生まれ、日本育ち」で公正や公平について考えたことを広げる活動です。考えを深めていくためのヒントも豊富に示しました。

質問し合うときの言葉の例

- もう少し詳しく教えて！
- どうしてそう考えたの？
- 具体的に言うの？
- 他には？
- それって、どういうこと？
- どんなイメージ？

p.128-131 「⑭『尊重』の本質を探ろう」

▶ 2. 対照表

[第 2 学年]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当頁	配当 時数	配当 学期	
	視点*							内容項目
	A	B	C	D				
巻頭詩					表2-1			
上級生として、 どんな自分で ありたい？	1 道徳の学習を始めよう	○	○	○	○	内容項目を限定しない	6-11	1
	2 カラカラカラ	○				自主、自律、自由と責任	12-14	1
	道徳で大切にしたいこと	○	○	○	○	内容項目を限定しない	15	
	3 アイヌの歌を歌いたい	○				希望と勇気、克己と強い意志	16-19	1
	4 ジコチュウ		○			相互理解、寛容	20-24	1
	5 命が生まれるそのときに				○	生命の尊さ	25-28	1
いじめを許さない 心について考える	6 気づかなかったこと		○			思いやり、感謝	29-33	1
	〈やってみよう〉感情をマネジメントしてみよう	○				向上心、個性の伸長	34-35	
	7 嫌われるのを恐れる気持ち	○				向上心、個性の伸長	36-38	1
よりよい 学校生活を 送るためには？	8 明日、みんなで着よう			○		公正、公平、社会正義	39-42	1
	9 〈まなびをプラス〉「いじり」って		○			友情、信頼	43-45	1
	10 テニス部の危機			○		よりよい学校生活、集団生活の充実	46-50	1
社会の一員として 働くとは？	11 松葉づえ		○			友情、信頼	51-57	1
	12 人って、本当は？				○	よりよく生きる喜び	58-61	1
	13 礼儀は何のため		○			礼儀	62-65	1
	14 段ボールベッドへの思い			○		勤労	66-69	1
	15 我が町の消防団			○		社会参画、公共の精神	70-73	1
	16 僕の職場は富士山です				○	自然愛護	74-79	1
情報モラルに ついて考える	〈コラム〉国立公園を楽しもう				○	自然愛護／感動、畏敬の念	80-81	
	〈やってみよう〉今日の「てがつく」	○	○	○	○	内容項目を限定しない	84	
	〈まなびの準備〉インターネットの利用を振り返ろう	○				節度、節制	85	
よりよい社会を つくるためには？	17 夢中になるのは悪いこと？					節度、節制	86-89	1
	18 〈まなびをプラス〉見えない誰かと		○			相互理解、寛容	90-92	1
	19 つながる命				○	生命の尊さ	93-95	1
	20 木桶仕込みのしょうゆを伝える			○		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	96-100	1
	21 民主主義と多数決の近くて遠い関係			○		遵法精神、公德心	101-104	1
	22 〈まなびをプラス〉砂漠でサバイバル			○		遵法精神、公德心	105-107	1
	23 私の町			○		郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	108-111	1
	24 北川さんの悩み		○			相互理解、寛容	112-116	1
共に生きるために 大切なことは？	25 境界線を溶かすチョコレート			○		国際理解、国際貢献	118-121	1
	26 カメルーン生まれ、日本育ち			○		公正、公平、社会正義	122-127	1
	27 「尊重」の本質を探ろう			○		公正、公平、社会正義	128-131	1
	〈コラム〉マイノリティの問題はみんなの問題			○		公正、公平、社会正義	132-133	
自分と向き合う とは？	28 優しさの光線	○				向上心、個性の伸長	134-138	1
	29 スカイツリーにかけた夢	○				真理の探究、創造	139-143	1
	30 遠く離れた人に会いたい				○	よりよく生きる喜び	144-147	1
よりよい生き方を 目指すためには？	31 宇宙の始まりに思いを寄せて				○	感動、畏敬の念	148-152	1
	32 異なり記念日			○		家族愛、家庭生活の充実	153-157	1
	33 二番目の悪者	○				自主、自律、自由と責任	158-163	1
	34 泣きすぎてはいけない				○	生命の尊さ	164-169	1
	35 一年間の学びを振り返ろう	○	○	○	○	内容項目を限定しない	170-173	1
〈付録〉泣いた赤おに 〈付録〉闇の中の炎 〈付録〉郷土と共に生きる 〈付録〉まなびの道具箱	〈付録〉泣いた赤おに		○			友情、信頼	174-179	
	〈付録〉闇の中の炎			○		遵法精神、公德心	180-184	
	〈付録〉郷土と共に生きる			○		郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度／我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	185-187	
	〈付録〉まなびの道具箱	○	○	○	○	内容項目を限定しない	188-189	
合計時数							35	

※ 視点の内容 A：主として自分自身に関する事 B：主として人との関わりに関する事 C：主として集団や社会との関わりに関する事
D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事